

# 令和元年度病院－在宅連携に関する実態調査報告書

## 【対象】

2019（令和元）年10月1日～31日の期間に病院を退院し、ケアマネジャーが担当した症例。

## 【方法】

富山県内全ての地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護含む）、グループホーム、計682事業所（新川：69カ所、富山：300カ所、高岡：213カ所、砺波：100カ所）に調査票を郵送した。

## 【結果】

494事業所（新川：54カ所、富山：189カ所、高岡：160カ所、砺波：91カ所）のケアマネジャー1,155名（新川：141名、富山：423名、高岡：399名、砺波：192名）から、889症例（新川：143例、富山：309例、高岡：285例、砺波：152例）の回答を得た。

## 【回収率】 回答事業所数／各圏域事業所数（％：少数点第2位四捨五入）

老人保健福祉 圏域別	地域包括支援 センター	居宅介護支援 事業所	小規模多機能型 居宅介護	グループホーム
新川 78.3 % 54/69	100.0% 5/5	88.6 % 31/35	28.6% 2/7	72.7% 16/22
富山 63.0% 189/300	69.4% 25/36	64.7 % 112/173	58.8 % 20/34	56.1% 32/57
高岡 75.1% 160/213	100.0% 17/17	96.1 % 99/103	50.0% 17/34	45.8% 27/59
砺波 91.0% 91/100	100.07% 3/3	93.3% 42/45	76.9% 10/13	92.3% 36/39
計 72.4% 494/682	82.0% 50/61	79.8% 284/356	55.7% 49/88	62.7% 111/177

## 1.病院-在宅連携調査に関する実態調査 11項目（①～⑪）

### ①年齢

N=889

	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-
新川	0	0	1	0	2	6	14	16	39	31	24	10	0
富山	0	0	0	1	11	16	26	38	65	71	60	16	5
高岡	0	0	0	3	3	7	31	37	50	93	44	11	6
砺波	1	0	0	2	2	4	9	17	29	40	40	6	2
計	1	0	1	6	18	33	80	108	183	235	168	43	13
(%)	0.1	0.0	0.1	0.7	2.0	3.7	9.0	12.1	20.6	26.4	18.9	4.8	1.5

性別	N=889	
	男	女
計	370 (41.6%)	519 (58.4%)

## ②退院時の介護度

N=889

	申請予定	申請中	変更中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
新川	2	4	5	11	16	43	19	16	13	14
	1.4	2.8	3.5	7.7	11.2	30.1	13.3	11.2	9.1	9.8
富山	4	36	13	21	23	72	50	43	24	23
	1.3	11.7	4.2	6.8	7.4	23.3	16.2	13.9	7.8	7.4
高岡	6	21	19	17	25	52	53	41	31	20
	2.1	7.4	6.7	6.0	8.8	18.2	18.6	14.4	10.9	7.0
砺波	0	8	10	7	15	31	26	22	17	16
	0.0	5.3	6.6	4.6	9.9	20.4	17.1	14.5	11.2	10.5
計	12	69	47	56	79	198	148	122	85	73
(%)	1.3	7.8	5.3	6.3	8.9	22.3	16.6	13.7	9.6	8.2

※申請予定および申請中、変更中の状態で退院した症例は14.4%であった。

## ③退院された病院名 非公表

## ④退院された病棟

全889症例 急性期(一般):552例(62.1%)、回復期リハビリ:147例(16.5%)、地域包括ケア:143例(16.1%)、療養:26例(2.9%)、緩和ケア:13例(1.5%)、精神:8例(0.9%)であった。

## ⑤診療科:退院時の担当科

N=888

	内科	精神科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	リハビリ	その他
新川	72	2	10	21	10	2	10	1	0	0	5	10
富山	164	6	18	59	13	6	15	0	2	2	14	9
高岡	158	1	23	48	10	0	12	0	2	1	12	18
砺波	87	1	5	37	4	4	4	1	0	0	5	4
計	481	10	56	165	37	12	41	2	4	3	36	41

※1 症例回答無し

⑥症例の概要〔入院疾患〕

N=889

	脳卒中	糖尿病	骨折	整形疾患	がん	心疾患	呼吸器疾患	肺炎	消化器疾患	精神疾患	認知症	尿路感染症	上記以外
新川	4	4	12	11	7	7	6	17	13	1	1	12	48
富山	24	9	40	22	36	16	9	37	24	4	0	9	79
高岡	11	8	30	22	40	15	10	48	22	1	2	11	65
砺波	9	4	24	15	17	13	2	19	10	0	1	7	31
計	48	25	106	70	100	51	27	121	69	6	4	39	223

⑥症例の概要〔医療的管理〕 医療的管理： 無し 491例（55.2%）有り 398例（44.8%）

医療的管理有り内訳 複数回答可

N=517

	点滴	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	褥瘡の処置	尿管留置カテーテル	自己導尿	以外
新川	33	1	0	1	3	0	1	8	4	2	5	3	22
富山	71	5	9	5	12	0	1	15	8	7	19	2	21
高岡	69	4	8	4	19	0	0	18	5	8	30	1	17
砺波	22	0	4	2	6	0	1	6	2	5	17	0	11
計	195	10	21	12	40	0	3	47	19	22	71	6	71

退院時に医療的管理が必要な利用者は、398例（44.8%）であった。

⑦入院前からの介護サービス利用

N=889

	有り	無し
新川	124	19
富山	234	74
高岡	221	64
砺波	124	28
計	703	186
%	79.1	20.9

入院前から介護サービスを利用していた症例は、703例（79.1%）であった。

⑧入院時の介護度

N=887

	未申請	申請 予定	申請中	変更中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
富山	42	3	15	4	30	22	67	47	35	23	19
新川	5	2	3	0	15	18	43	18	16	12	11
高岡	34	3	15	3	25	35	50	49	34	22	15
砺波	12	2	2	4	9	18	33	25	22	14	11
全県	93	10	35	11	79	93	193	139	107	71	56
%	10.5%	1.1%	3.9%	1.2%	8.9%	10.5%	21.8%	15.7%	12.1%	8.0%	6.3%

入院時に介護認定（変更中、要支援1～2、要介護1～5）のある患者（利用者）は、84.5%であった。

⑨入院時の情報提供

	入院前から担当であり、実施した	提供率 (%)	入院前から担当であったが、実施しなかった	計	入院前は担当ではなかったため、実施しなかった
新川	94	75.2	31	125	18
富山	197	83.4	39	236	73
高岡	180	81.1	42	222	63
砺波	98	79.7	25	123	29
計	569	80.6	137	706	183

県全体の「入院時情報提供率」は、80.6%であった。（入院前は担当ではなかったを除く）

全患者（889名）のうち79.4%（706名）が、入院時に担当ケアマネジャーがいる。

入院前から担当であり、実施した

時期	N=566	実施方法	N=572	
	平均日数		文書	文書以外
新川	3.0日	新川	77	17
富山	2.6日	富山	161	40
高岡	2.8日	高岡	151	27
砺波	2.7日	砺波	67	32
計	2.7日	計	456	116

※入院当日は1日目とする

入院前から担当であったが、実施しなかった

	必要ないと判断した	入院したことを知らなかった	計
新川	24	7	31
富山	22	5	27
高岡	31	9	40
砺波	20	4	24
計	97	25	122

## 必要ないと判断した理由

	検査入院の ため	短期入院の ため	前回と変 化なし	その他	計
新川	3	3	10	8	24
富山	3	6	10	15	34
高岡	5	5	10	13	33
砺波	4	2	10	7	23
計	15	16	40	43	114

### 「その他」

- ・入退院を繰り返しているため。
- ・訪問看護などの事業所から情報提供があったため。
- ・施設入所中の入院で、施設側からの情報提供があったため。
- ・サービス利用がなかったため。
- ・レスパイト入院のため。
- ・情報提供について病院に確認したところ不要と言われたため。

## ⑩病院からの退院連絡

連絡の有無	N=889		時期	N=754	
	連絡有り	退院調整率 (%)			連絡なし
新川	118	82.5	25	新川	6.1 日前
富山	258	83.5	51	富山	6.6 日前
高岡	246	86.3	39	高岡	6.7 日前
砺波	140	92.1	12	砺波	6.8 日前
計	762	85.7	127	計	6.6 日前

「退院前連絡日数」は、平均 6.6 日前であった。 ※退院当日は 0 日前とした。

県全体の「退院調整率」は 85.7%であった。

## 連絡者

	地域連携室	病棟
新川	118	0
富山	242	16
高岡	184	69
砺波	137	7
計	681	92

## 方法

	口頭	文書	口頭+文書
新川	86	6	26
富山	228	4	24
高岡	229	4	13
砺波	131	1	8
計	778	17	86

## ⑪ 患者情報収集

情報収集の有無

N=889

	情報収集 有り	情報収集率 (%)	情報収集 なし
新川	131	91.6	12
富山	292	94.5	17
高岡	274	96.1	11
砺波	143	94.1	9
計	840	94.5	49

※全症例の94.5%は、退院時にケアマネジャーが情報収集し退院している。

### 病院からの情報収集の方法（複数回答）

	病院訪問 訪問率 (%)	退院前カン ファレンス 開催率 (%)	文書（退院時 サマリー等） 提供率 (%)	電話 連絡率 (%)	その 他	実施率 (%)
新川	76 53.1	35 24.5	92 64.3	84 58.7	—※	—※
富山	154 49.8	80 25.9	210 68.0	148 47.9	26	8.4
高岡	173 60.7	119 41.8	211 74.0	143 50.2	20	7.0
砺波	75 49.3	49 32.2	66 43.4	88 57.9	15	9.9
計	478 53.8	283 31.8	579 65.1	463 52.1	61	6.9

全 889 症例 [新川：143 例、富山：309 例、高岡：285 例、砺波：152 例]

※ 調査項目なし

全症例に占める県全体の「病院訪問率」は 58.3%、「退院前カンファレンス開催率」は 31.8%、「退院時サマリー等提供率」は 65.1%であった。

**入院時情報提供率**：利用者の入院時にケアマネジャーが医療機関に対して、利用者の生活環境等の情報を提供した割合。

**入院時情報提供日数**：利用者の入院時にケアマネジャーが医療機関に対して、利用者の生活環境等の情報を提供するまでの日数。（平成 30 年度から指標に追加）

**退院調整率**：病院担当者が利用者の退院前にその担当ケアマネジャーに連絡した割合。

**退院前連絡日数**：病院担当者よりケアマネジャーへ退院連絡のあった日から実際の退院までに要した日数。

**病院訪問率**：退院前にケアマネジャーが病院を訪問した割合。

**退院前カンファレンス開催率**：退院前にケアマネジャーが病院担当者とカンファレンスを開催した割合。

**退院時サマリー提供率**：ケアマネジャーが病院から退院時サマリー等の提供を受けた割合。

## 2.病院－在宅連携に関する課題および病院側への課題・要望等（複数回答可）

寄せられた課題や要望については、213件（新川34件、富山57件、高岡83件、砺波39件）であった。その中の一部を「病院内部のシステムについて」、「退院時の連絡のあり方について」、「情報提供のあり方について」、「制度や社会資源について」、「その他」に分類し、以下に記載する。

### 「病院内部のシステムについて」

#### 〔課題〕

- ・家屋評価を積極的に行ってほしい。
- ・入院時と退院時病棟が変わっており、担当者が変わったことを知らなかった。
- ・地域連携室が関わるケースと病棟と直接話しをするケースあり、相談先については迷う。地域連携室と病棟の退院支援担当者の役割の違いが分かりにくい。
- ・病院によっては、退院や変更申請をかけても何の連絡もない所があり、困る事がある。要の連絡は頂きたい。
- ・退院までの経過見通しを分かりやすく本人家族に説明して介護の不安を少なくしてほしい。

#### 〔要望〕

- ・地域包括支援センターに来所されても具体的な病名や希望される手続きについて曖昧な家族があり、病院の助言時にメモなどを持たせて頂けるとありがたい。
- ・病状説明は家族も分かりやすいような説明、話やすい雰囲気であるように望む。専門用語が多く速い。
- ・退院時の状態を詳しく知りたいので必ずカンファレンスをしてほしい。
- ・リハビリ職員が（ケアマネに事前の相談なく）福祉用具事業所に直接連絡し福祉用具貸与の手配をするのはやめて頂きたい。
- ・担当ケアマネジャーがいるのにもかかわらず、何の連絡もなく介護認定区分変更がされていることがあった。

### 「退院時の連絡のあり方について」

#### 〔課題〕

- ・福祉用具レンタルのみの方だが、退院して3週間ほど経ち退院日を知った。こちらから連絡しなければ知らないままで、退院を知るためにはどうすればよかったのか。

#### 〔要望〕

- ・入院の経過がどうであれ「退院をした」程度でも良いのでFAXでも連絡がほしい。
- ・地域連携室や病棟からの退院連絡がなく、退院日に「今日退院しました」と家族から連絡があった。退院連絡はもう少し早く、余裕をもって言って欲しい。
- ・退院の1週間前までに退院連絡があると助かる。
- ・他院に転院する場合でも事前に連絡がほしい。

### 「情報提供のあり方について」

#### 〔課題〕

- ・入退院時の情報の共有がし易い(窓口担当者がはっきりしている)病院もあれば分かりづらいところもある。
- ・退院日の連絡だけではなく、入院中の経過(途中経過)も連絡して欲しい。

#### 〔要望〕

- ・短期間の入院だと病院からケアマネに情報が来なかったり遅れたりすることがよくある。1～2週間の入院でも高齢者は随分と状態が変わることがあるので必ず連絡が欲しい。

## 「制度や社会資源について」

### 〔課題〕

- ・入院中に例えば尿留置カテーテルなどになって退院した場合、グループホームでは常時看護師がいる施設ではない為、退院後の対応が困難となるケースがあった。
- ・経鼻経管栄養の方のショートステイの受入れ施設が少ない。
- ・ALSで呼吸器の方の受け入れ先がない。難病のレスパイト事業のみでは不足している。

### 〔要望〕

- ・特になし

## 「その他」

### 〔課題〕

- ・砺波圏域内の病院では、病院連携室とケアマネとの連携は比較的良好と思っておりますが、圏域外の急性期病院連携室の中にはスムーズに連絡ができない、もしくは困難な場合があり、対応に苦慮します。

### 〔要望〕

- ・急な退院であったがSWから経緯や状況を伝えてもらえたのでスムーズに対応できた。
- ・介護度が分かってから契約・利用開始にしましょうとサービス事業所から言われるケースが多くサービス利用が遅れてしまうことがある。申請をもう少し早くしていただけると助かる。
- ・訪問歯科診療を入れる場合知らせてほしい
- ・介護保険申請を進めるタイミングが入院間近にならないよう、早い段階より検討してほしい。